

市民がつくる 持続可能な資源循環のまち こしがや

資料3

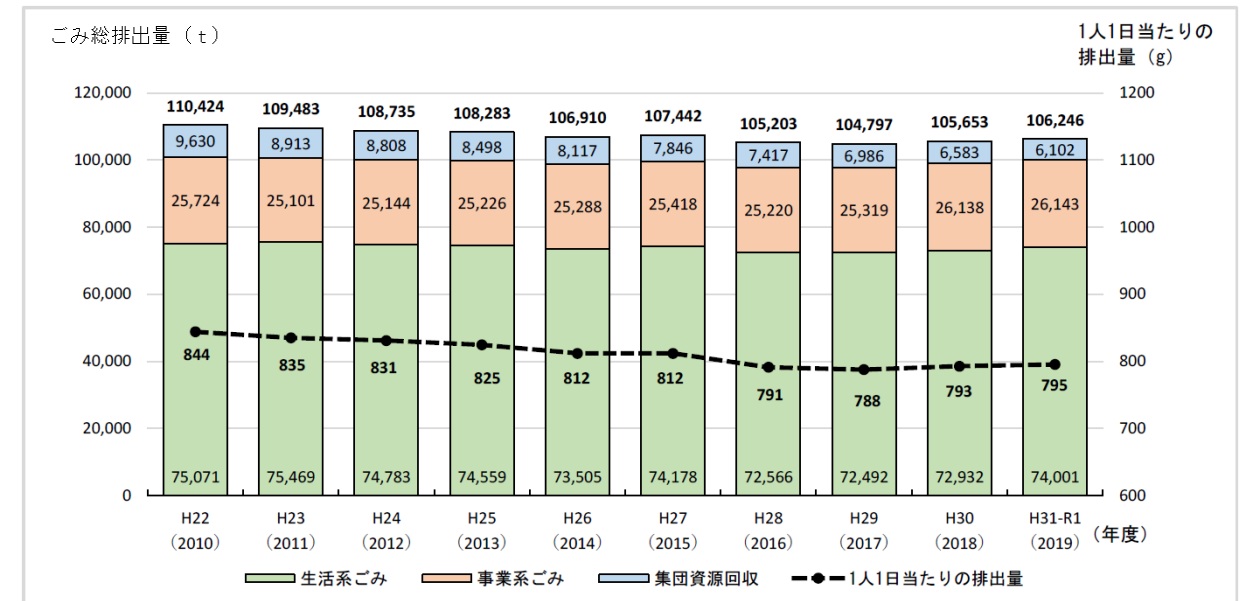
今、越谷のごみはどうなっているの？ (本編：6頁、17頁～19頁)

◆ごみ処理量

本市のごみ総排出量は、全体として減少傾向にあります。

1人当たりのごみの排出量も、平成22年(2010年)の844g/人・年に対して、令和元年(2019年)は795g/人・年と約94%に減少しています。

◆一般廃棄物の年間排出量の推移



◆前計画の目標と達成状況

前計画の目標1 ごみ排出量の削減目標(令和2年度(2020年度)目標)

① 1人1日当たりのごみ排出量を800gに削減する
865g/人・日(H21) ⇒ 795g(H31・R1)



② 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を611g/人・日に削減する
645g/人・日(H21) ⇒ 587g(H31・R1)



③ 事業系ごみ排出量を23,499t/年に削減する
26,093t/年(H21) ⇒ 26,143t/年(H31・R1)



さらなる減量を
目指します!

前計画の目標2 再生利用の目標(令和2年度(2020年度)目標)

① 分別の徹底により、リサイクル率を25.4%に引き上げる
18.2%(H21) ⇒ 17.7%(H31・R1)



新しい目標値は
扉を開いてください!

前計画の目標3 最終処分量の削減目標(令和2年度(2020年度)目標)

① 最終処分量を9,088t/年に削減する
9,957t/年(H21) ⇒ 7,668t/年(H31・R1)



越谷市一般廃棄物処理基本計画
ごみ処理基本計画
(令和3年度～令和12年度)

概要版

越谷市

◆越谷市一般廃棄物処理基本計画 ごみ処理基本計画とは

本計画は、天然資源の枯渇、温室効果ガスの排出による地球温暖化、廃棄物の多様化による処理の困難化などの問題に対処し、循環型社会を目指すため、ごみの排出抑制、減量・資源化と適正処理に関する越谷市の施策を推進するための計画です。

市民がつくる 持続可能な資源循環のまち こしがや

方針
1

市民・事業者との協働による資源循環の推進

市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量・資源化などに取り組みます。さらに、それぞれの役割や責任を果たす中で相互協力し、SDGsの理解促進と行動変革を推進することで循環型社会の構築を目指します。

- 1-1 分別の徹底によるごみ減量・資源化の促進
- 1-2 地域一体となった資源化の促進
- 1-3 食品ロスの削減
- 1-4 SDGsの理解促進と行動変革



方針
2

排出事業者等による主体的なごみの減量・資源化の促進

市は排出量の多い卸売・小売業等に向けた減量・資源化マニュアルの作成や資源化業者と排出業者のコーディネートを行い、ごみの適正排出及び資源化を促進します。

- 2-1 事業系ごみの減量・資源化の促進
- 2-2 ごみの適正処理に向けた指導の徹底
- 2-3 事業者への支援体制の充実



方針
3

新たなごみ収集・処理システムの構築

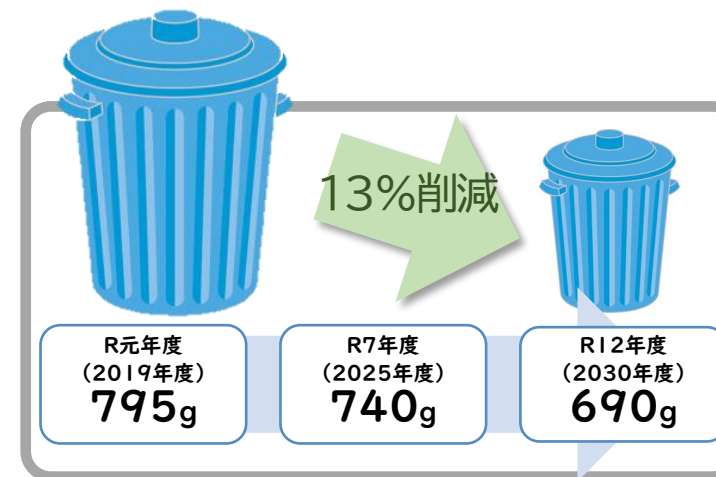
将来を見据え、超高齢社会に対応したごみ収集・処理システムの整備に取り組みます。また、市民や事業者の協力のもと、地域と連携したごみ集積所の管理、まちの美化などに取り組みます。さらに、災害廃棄物の処理計画や業務マニュアルの見直しを行います。

- 3-1 長期展望に基づく収集・処理システムの検討
- 3-2 超高齢社会に対応した環境整備
- 3-3 指定袋制度及びごみ処理有料化の検討
- 3-4 きれいなまちづくりの推進
- 3-5 災害廃棄物等処理体制の強化

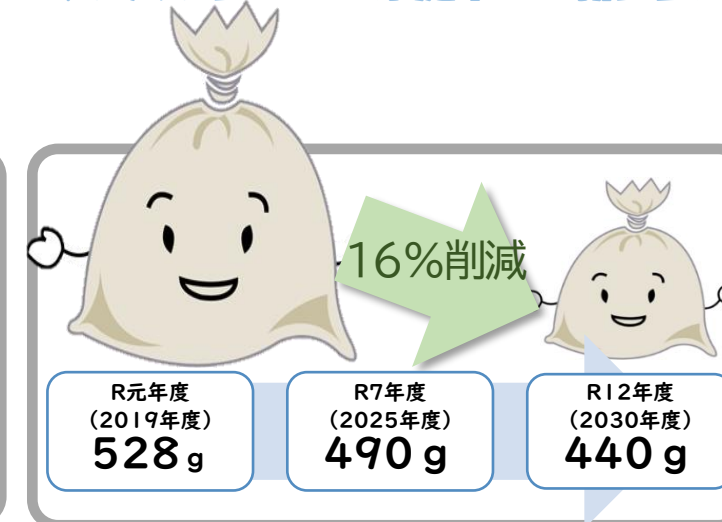


市民・事業者・行政の理解・協力 → 具体的な行動(個別施策)

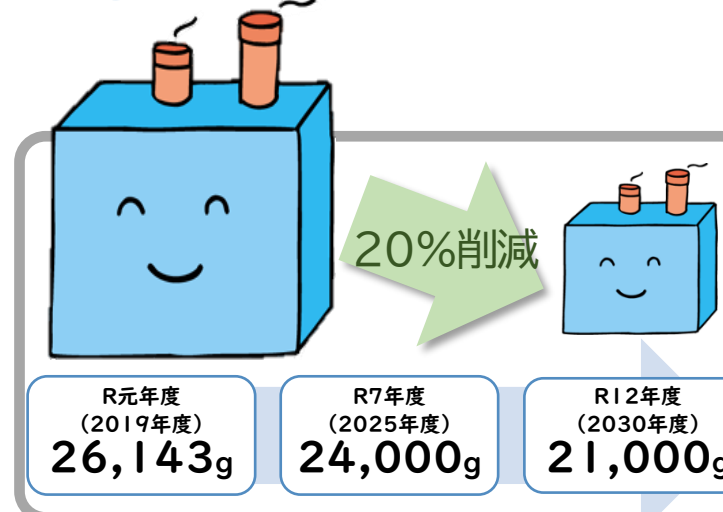
◆1人1日あたりごみ排出量



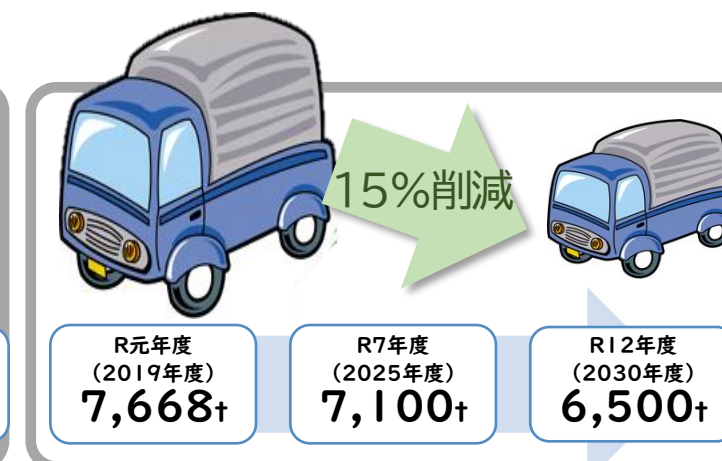
◆1人1日あたり家庭系ごみ排出量



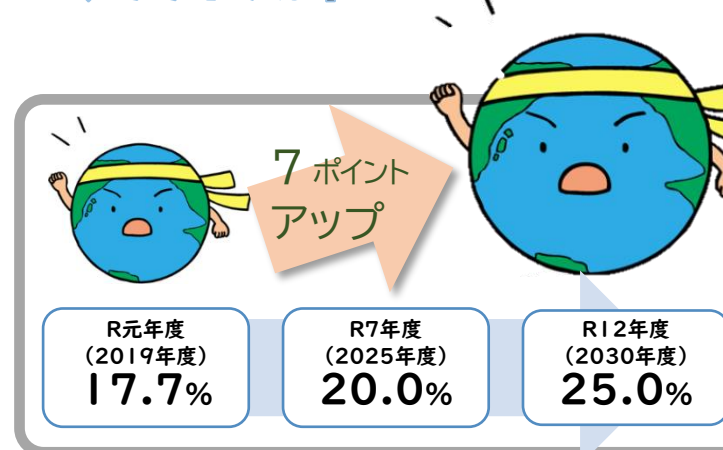
◆事業系ごみ排出量



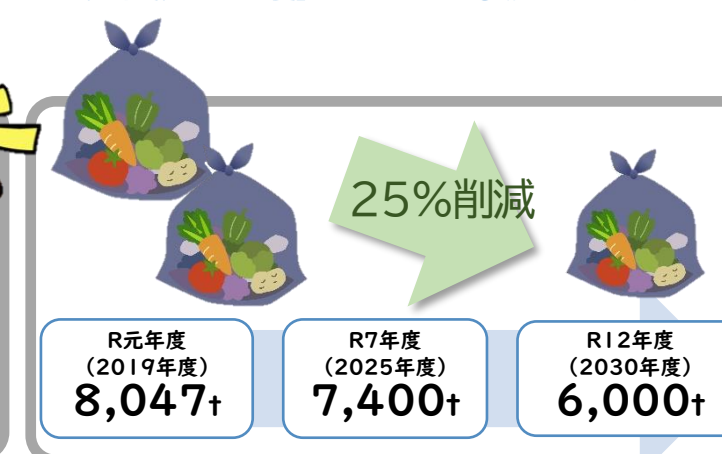
◆最終処分量



◆リサイクル率



◆家庭から排出される食品ロス量



目標を達成するためには、市民・事業者・行政の協働による取り組みが必要です

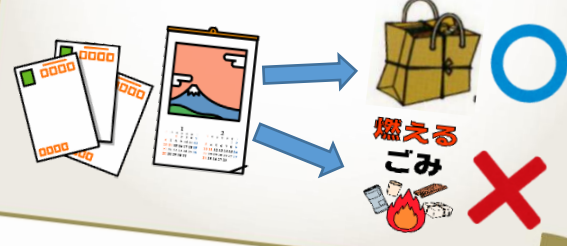
目標に向けた市民のアクション！

◆食品ロスを減らそう！

- ①買い物をする時
 - 出かける前に冷蔵庫を整理して、必要な食材をチェックしよう！
 - 安いからといって買いすぎないようにしよう！
 - ばら売り・はかり売りを利用しよう！
- ②調理をする時
 - 食べきれぬ分だけ作ろう！
 - 残った料理はリメイクしよう！

◆雑紙（ざつがみ）をリサイクルしよう！

- 包装紙、紙箱などの雑紙を、燃えるごみとして捨てずに、資源物として分別して出そう！
- 雑紙は地区センターのボックス回収にも出そう！



◆プラスチックごみを減らそう！

- マイバッグ持参でレジ袋は断ろう！
- 日用品は、詰め替え商品を選ぼう！
- マイボトルを持参しよう！
- ワンウェイ製品の使用を控えよう！



◆生ごみの捨て方を工夫しよう！

- 生ごみを捨てる時はしっかり水切りをして、ごみの重量を軽くしてから集積所に出そう！
- 生ごみは堆肥化したりしよう！



◆その他生活で（パート1）

- 裏紙をメモ用紙などに使用しよう！
- 家具や家電製品などは、修理して大切に長く使おう！
- ペットボトルは中を軽くすすぎ、キャップとラベルを外し、つぶして出そう！

◆その他生活で（パート2）

- フリーマーケットやリサイクルショップを利用しよう！
- 家庭で余っている食品などはフードドライブの活用を！
- 自治体のごみ政策に関心を持ち、協力すると同時に、常に問題点について意識して行動しよう！

目標に向けた事業者のアクション！

◆紙類の減量・再利用のポイント

- 裏面が印刷されていないOA用紙や広告紙などはメモ用紙として活用しよう！
- 古紙は、種類ごとに分別し、リサイクルしよう！
- 複数ページの印刷やコピーには、両面印刷などの機能を活用しよう！
- 会議では、プレゼンテーションソフトなどを活用し、紙の資料を減らそう！

◆生ごみの減量及び食品ロス削減のポイント

- 食材を仕入れるときは、多すぎることがないように、慎重に発注しよう！
- 小盛りメニューや、食べ残しを持ち帰りできるサービスの導入を検討しよう！
- 消費期限間近な商品などは、値引きをするなど買い求めやすくして、なるべく廃棄しないようにしよう！
- 消費者に対し、店内や店頭で、食品ロスの削減について、呼びかけよう！
- 食品の生産、加工段階などでの生ごみは水分を切り減量しよう！
- 食品の加工くず、売れ残り品などは、生ごみ処理機の導入や、再生利用事業者へ搬入し、堆肥化や飼料化をしよう！

◆管理及び意識向上のポイント

- 確実な減量・資源化のため、事業所でどんなごみがどれだけ出ているか定期的に把握し、計量してみよう！
- ダイレクトメールの印刷量は必要最小限にしよう！また、余ったダイレクトメールは古紙類としてリサイクルしよう！
- ごみ減量・リサイクルの行動計画を作成し、進捗状況の管理、改善に努めよう！
- 環境マネジメントシステムの導入に努めよう！

◆梱包などの削減のポイント

- レジ袋が必要かどうか聞くなど、レジ袋の削減に取り組もう！
- パレットの使用など、運搬・梱包資材の省資源化・再使用を進めよう！
- 過剰包装を控え、簡易包装・無包装を推進しよう！

やる気アップ

ごみを出さない職場・製品づくりを目指し、全体プロセスの合理化を進めることで従業員一人ひとりの意識と行動の変革！

イメージアップ

環境問題に取り組み、社会的な責任を果たすことで企業のイメージアップ！

コスト削減

無駄を見直し、分別、再資源化を徹底することで
ごみ処理経費の削減！
有価物の売却収益増！

ごみ減量による
メリット



対応すべきこれからの課題は？ (本編：22頁～24頁)

課題1 もっとごみを減らそう！



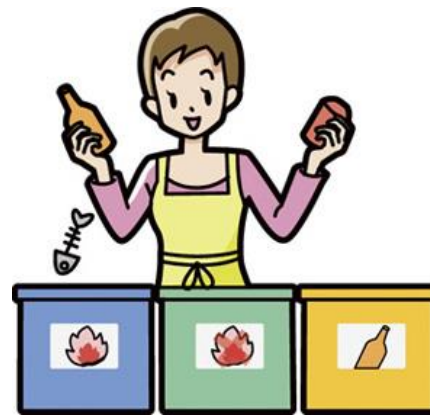
近年は、人口の増加や店舗数の微増に伴う事業系ごみの増加などにより、ごみ総排出量の減少幅は鈍化し、下げ止まりの傾向がみられます。

また、食品ロスやプラスチックごみなどの新たな社会的課題が出てきており、それに対応するためには、市民・事業者・行政が協働し、さらなるごみの減量・資源化に取り組んでいく必要があります。

課題2 もっとリサイクルしよう！

ごみの適正排出と資源物の分別徹底を推進する必要があります。また、店頭回収などの案内も必要です。

少子化や高齢化による自治会などの担い手不足、古紙の市況価格の下落による買取価格の逆有償などの課題があるため、今後も市民が安心して集団資源回収を継続できる仕組みを作る必要があります。



課題3 高齢者へのごみ出しの支援



今後、さらに一人暮らしの高齢者等の増加が見込まれることから、市民のニーズを的確に捉えながら、屋内から粗大ごみなどの持ち出しを行うなどの新たな支援を検討する必要があります。

課題4 プラスチックごみが海を汚染！！

プラスチックごみ削減に向け、レジ袋やワンウェイプラスチック製品などの使用抑制、ポイ捨て・不法投棄撲滅の徹底及び清掃活動の推進について市民への周知啓発を進める必要があります。また、事業者は過剰な包装を控えるなど取り組みの必要があります。



これらの課題は他人ごとではありません。自分ごととして意識し、行動しよう！

一人ひとりの意識と行動が「持続可能な資源循環のまち しがや」を実現します！

モッタイナイ
「MOTTAINAI」の精神で
環境3R + Respect = もったいない

Reduce (ごみ削減)、Reuse (再利用)、Recycle (再資源化) という環境活動の3Rをたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対するRespect (尊敬の念) が込められている言葉、「もったいない」の精神でごみを減量しよう！

正しい分別でごみ減量！

ごみの分別区分や処理方法は各自治体で異なります。越谷市のごみ処理に関する情報は、市のホームページやごみ収集カレンダー、広報等様々な媒体で情報発信をしています。

正しいごみの分別でごみを減量しよう！



世界と一緒に取り組もう！ 「持続可能な開発目標」SDGs

ごみの減量・分別の徹底はSDGsに大きく貢献します。特に、食品ロスの削減、プラスチックごみの適正な処理は重要です。みんなで実践しましょう。

*SDGsとは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した2030年までに達成を目指す17のゴールと169のターゲットです。

なぜごみを減らすの？

限りある資源を有効利用することは、地球環境(豪雨・洪水などの自然災害の抑制)を守ることに繋がります。その他にも、ごみ処理にかかる莫大なお金を減らしたり、ごみ処理施設や最終処分場を延命化したりすることができます！

あなたのちょっとしたひと手間が、越谷市や地球の未来を変えるのです！

越谷市一般廃棄物処理基本計画 ごみ処理基本計画 (令和3年度～令和12年度)
概要版

発行：令和 年 月

編集：越谷市環境経済部リサイクルプラザ

越谷市砂原 355

お問い合わせ先 048-976-5371

